

<基本情報①(自治体情報)>

都道府県市名 政令都市名	山口県		
高校入試 担当部署名	高校教育課		
TEL	083-933-4627	FAX	083-933-4619
URL	https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50300/index/		

<基本情報②(担当した有志の会メンバー情報)>

調査担当者名	田中 沙織 (所属:公益財団法人山口県国際交流協会)
--------	----------------------------

この色のセルは、昨年度と表記方法を変えた設問です。

この色のセルは、今年度新しい設問です。

<全国一覧掲載情報>

	I 全日制高校について						II 定時制高校について					
	A.外国人生徒		B.中国・サハリン帰国生徒		C.海外帰国生徒		D.外国人生徒		E.中国・サハリン帰国生徒		F.海外帰国生徒	
	A2-1.措置	A3-1.枠	B2-1.措置	B3-1.枠	C2-1.措置	C3-1.枠	D2-1.措置	D3-1.枠	E2-1.措置	E3-1.枠	F2-1.措置	F3-1.枠
1. 設置されているか(2-1、3-1と一致)	○	×	△	×	○	×	○	×	△	×	○	×
2. 国籍要件の有無	一部条件あり		一部条件あり		一部条件あり		一部条件あり		一部条件あり		一部条件あり	
3. 定員の確保がされているか(3-5の記入欄番号①②から1つ選択)												

I 全日制高校について			
	A.外国人生徒	B.中国・サハリン帰国生徒	C.海外帰国生徒
1.2021年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択	有	無	有
2-1.2022年度の一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記	○	△	○
2-1の名称	外国人生徒		帰国生徒
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記		帰国生徒であるが、2-2の制限については外国人生徒と同様としている。	
2-2.滞日年数制限	6年以内	6年以内	外国における在住期間が継続して2年以上で、帰国後2年以内又は帰国予定
2-3.措置の内容	(1)各教科10分を限度として、必要に応じて、検査時間を延長する。 (2)学力検査の問題文の漢字に、必要に応じて、ふり仮名をつける。	(1)各教科10分を限度として、必要に応じて、検査時間を延長する。 (2)学力検査の問題文の漢字に、必要に応じて、ふり仮名をつける。	(1)各教科10分を限度として、必要に応じて、検査時間を延長する。 (2)学力検査の問題文の漢字に、必要に応じて、ふり仮名をつける。
2-4.2021年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)していますか? ※有・無・把握せずから1つ選択	無	無	把握せず

2021年度実施(2022年度入試)調査票

3-1.2022年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした 特別入学枠の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記		×	×	×
3-1の名称				
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記				
3-2.滞日年数制限				
3-3.入学枠のある学校数/全学校数				
3-4.学校名				
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)			
	②定員外(枠外)			
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択				
3-7.試験内容				
3-8.2021年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)していますか? ※有・無・把握せずから1つ選択				
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、 2021年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入				

Ⅱ 定時制高校について

	D.外国人生徒	E.中国・サハラ以南帰国生徒	F.海外帰国生徒
1.2021年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択	無	無	有
2-1.2022年度の一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記	○	△	○
2-1の名称	外国人生徒		帰国生徒
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記		帰国生徒であるが、2-2の制限については外国人生徒と同様としている。	
2-2.滞日年数制限	6年以内	6年以内	外国における在留期間が継続して2年以上で、帰国後2年以内又は帰国予定
2-3.措置の内容	(1)各教科10分を限度として、必要に応じて、検査時間を延長する。 (2)学力検査の問題文の漢字に、必要に応じて、ふり仮名をつける。	(1)各教科10分を限度として、必要に応じて、検査時間を延長する。 (2)学力検査の問題文の漢字に、必要に応じて、ふり仮名をつける。	(1)各教科10分を限度として、必要に応じて、検査時間を延長する。 (2)学力検査の問題文の漢字に、必要に応じて、ふり仮名をつける。
2-4.2021年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)しているか？ ※有・無・把握せずから1つ選択	無	無	無
3-1.2022年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学枠の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記	×	×	×
3-1の名称			
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
3-2.滞日年数制限			
3-3.入学枠のある学校数/全学校数			
3-4.学校名			
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)		
	②定員外(枠外)		
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択			
3-7.試験内容			
3-8.2021年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)していますか？ ※有・無・把握せずから1つ選択			
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、2021年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入			

Ⅲ高校入学後の状況

<p>1.日本語指導が必要な生徒に対して、入学後の日本語や教科の支援(補習等)にかかわる当該自治体の施策の有無 ※有・無から1つ選択</p>	有	
<p>2.有の場合、その施策の具体的な内容 ※該当する項目にチェック</p>	<input type="checkbox"/>	A.教育課程に位置づけられた日本語授業(学校設定科目や個別対応授業など単位として認定されるもの)の実施
	<input type="checkbox"/>	B.教科学習において個別対応や習熟度別の授業を実施
	<input type="checkbox"/>	C.母語(継承語)保持のための授業の実施
	<input checked="" type="checkbox"/>	D.担当教員の加配
	<input type="checkbox"/>	E.日本語の授業などの講師や支援者の雇用
	<input type="checkbox"/>	F.母語(継承語)の支援のための講師や支援者の雇用
	<input type="checkbox"/>	G.その他外部支援者(コーディネーターなど)の雇用
	<input type="checkbox"/>	H.日本語指導が必要な生徒を対象としたキャリア教育(出口支援)
<p>その他の施策</p>		
<p>上記に該当する実施校の校数等</p>		
<p>補足事項</p>		
<p>3.自治体の施策ではないが、各学校で個別に実施していることがあれば記入</p>	事情によって支援内容を検討	
<p>4.2021年度の入試において、海外で中学相当(学校教育における9年の課程)を修了し、来日後直接高校受検(受験)した者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合はその人数も記入</p>	有	1名
<p>5.2020年度中に、直接来日後による編入学生の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合は、その人数も記入</p>	無	

IV日本国内にある外国学校からの入学について		
	↓記入欄	備考
1-1.各種学校の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受検)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以って認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	×	本県で定めている応募資格には該当するものがないから(中学校卒業程度認定試験合格者については高校受験資格を認めている。)
1-2. 1-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学選抜の受験(受検)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)		
2-1.各種学校ではないが、本国政府の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受検)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以って認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	×	本県で定めている応募資格には該当するものがないから(中学校卒業程度認定試験合格者については高校受験資格を認めている。)
2-2. 2-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学選抜の受験(受検)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)		
3.上記のⅠⅡ特別措置と入学枠での滞日年数制限について、日本国内にある外国学校の在籍期間は、日本での在在期間に含むか否か ※日本での滞在期間に含むは「含む」、滞在期間に含めないは「含めない」のいずれかで記入		
4.外国学校の中等部の卒業生について、2021年度入試において受験(受検)希望があったか ※あった場合「有」を記入、備考にその人数を記入。なかった場合は「無」を記入。把握していない場合は「把握せず」	無	

V 調査した人からのコメントや関係者の皆さんへお知らせ

※各地域を担当されている皆さんから知っている地域情報を、皆さんの視点からご記入いただきたいです。

「他地域から皆さんが担当する地域に引越し予定をしている中2の外国人生徒とその保護者に伝えたい情報」という想定で、いずれも公開されている情報について、ご無理のない範囲で、ご記入ください。

<p>1.日本語指導が必要な生徒の状況について、支援者の立場から、高校受験(受験)や高校進学に困難なケースや高校入試及び入学後の支援に関して課題と感じていること 高校入試や高校入学後の支援に関して、教育委員会や高校に期待すること</p>	<p>・外国人住民が散在している本県では、外国にルーツを持つ児童生徒への対応や日本語指導についてのノウハウがまだ十分に蓄積されていないと感じます。県教育委員会主催の研修等を通して、引き続き、日本語指導や校内でのサポート体制についての情報共有が行われることにより、ネットワークが形成されていくことを期待します。また、日本語指導に係る予算措置等がない自治体もありますが、日本語指導を必要とする生徒が適切なサポートが受けられる体制づくり(初期の集中的な日本語指導を含む)のためには、ICTの活用や、外部機関・団体・支援者との連携が不可欠であると考えます。 ・高校入試の特別措置等については、受験希望者の実情等も踏まえながら、措置の内容がより充実されていくことを期待します。</p>
<p>2.日本語指導が必要な生徒を受け入れている私立高校の情報や課題など</p>	<p>・私立高校の情報 梅光学院高等学校(下関市):国際生・帰国生選抜(普通科)【作文(日本語または英語)・調査書・面接】 ※その他、入試の際に問題文のルビ等の配慮をしている高校もある。</p>
<p>3.外国人生徒の高校入試などについて、近くで相談できる場所 ※担当地域内の団体名やURLなどを記入ください</p>	<p>(公財)山口県国際交流協会 https://yiea.or.jp/</p>
<p>4.多言語による関連情報 ※担当地域の自治体やNPOなどで公開されているものがあれば、URLなどを記入ください。</p>	<p>(公財)山口県国際交流協会 https://yiea.or.jp/support/child/ ※外国にルーツを持つ子どもの支援に関するページ</p>
<p>5.その他 ※「こんな情報もあるよ!」ということ、メッセージや助言などがあれば、調査した人からの目線でぜひご記入ください。なお、そのままホームページには掲載致しません。</p>	<p>(公財)山口県国際交流協会では、外国にルーツを持つ子どもの支援に関する講座の開催、子どもの日本語教材の貸出、通訳・翻訳サポーターや日本語ボランティアの紹介、やまぐち外国人総合相談センター(20言語)での相談対応、県内の日本語教室や国際活動団体に関する情報提供等を行っております。ぜひお気軽にご相談ください。</p>